



2019年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月10日

上場会社名 東亜バルブエンジニアリング株式会社
 コード番号 6466 URL <http://www.toavalve.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笹野 幸明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 飯田 明彦

TEL 06-6416-1184

四半期報告書提出予定日 2019年5月14日

配当支払開始予定日

2019年6月17日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第2四半期の連結業績(2018年10月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第2四半期	3,263	9.9	186		149		148	
2018年9月期第2四半期	2,968	22.8	13		3	97.9	27	

(注) 包括利益 2019年9月期第2四半期 217百万円 (%) 2018年9月期第2四半期 5百万円 (96.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第2四半期	65.06	
2018年9月期第2四半期	11.92	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第2四半期	10,583	7,517	71.0
2018年9月期	10,775	7,839	72.1

(参考) 自己資本 2019年9月期第2四半期 7,516百万円 2018年9月期 7,769百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期		15.00		20.00	35.00
2019年9月期		15.00			
2019年9月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	1.2	250	54.1	290	50.1	260	45.8	114.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期2Q	2,678,600 株	2018年9月期	2,678,600 株
期末自己株式数	2019年9月期2Q	394,627 株	2018年9月期	403,994 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期2Q	2,277,252 株	2018年9月期2Q	2,270,555 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年9月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年10月1日から2019年3月31日まで)におけるわが国経済は、中国をはじめとした海外経済の不確実性からくる影響に留意しつつも、依然、好調な企業業績や雇用・所得環境の改善傾向を背景に、緩やかな回復基調の中で推移いたしました。

当社グループは、原子力・火力発電所用バルブの製造とメンテナンスを主な事業としておりますが、東日本大震災の津波による東京電力福島第一原子力発電所事故以降、原子力発電所(以下、「原発」)を取り巻く環境が大きく変化し、原発の定期検査工事を事業の柱としてきた当社グループのビジネスモデルに大きな影響が生じ、非常に厳しい状況で今日にまで至っています。

このような中、当第2四半期連結累計期間におきましては、関西電力高浜原発3号機の定期検査工事が完了し売上計上したほか、バルブ製品においては原発関係売上の比率が増加したことで、全体の売上高は32億63百万円(前年同期比9.9%増)となりました。

しかし採算面では、依然、売上高の絶対的な不足から黒字計上には至らず、営業利益は1億86百万円の赤字(前年同期は13百万円の赤字)、経常利益は1億49百万円の赤字(同3百万円の黒字)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億48百万円の赤字(同27百万円の赤字)となりました。

前年同期に比して増収減益となった理由は、前年同期は、受注損失引当金の戻入額とたな卸資産(仕掛品)の増加が大きく損益にプラスの影響をもたらしましたが、当第2四半期連結累計期間においては、たな卸資産(仕掛品)は同様に増加したものの、受注損失引当金繰入額が戻入額を上回ったことから増収ながら減益となりました。

また、当第2四半期連結累計期間においては、資本業務提携契約を締結している株式会社キッツの指導を受け、全社経営効率向上のためTAMES(ToA Management Evolving System)プロジェクトをスタートいたしました。

このプロジェクトは、すべての事業活動における生産性向上を目指し組織横断的に行われる活動で、マーケットイン発想への転換により、「納期」「コスト」「品質・サービス」で顧客に貢献できる企業へと変貌すべく、半年間の準備期間を経て本年2月1日よりスタートいたしました。

名称のTAMES(タメス)には、「試す(Try)、Challenge」の意味を重ね合わせ、当社グループで働く全ての従業員が、「まずはやってみる」の精神で取り組むことにより、新しい視点・発想から経営効率の向上を実現し、会社業績の改善につなげていく目論見です。

報告セグメント別の業績は、バルブ事業の売上高は、表のとおりバルブ製品と原発定期検査工事が前年同期に比して増収となり、合計では25億32百万円(前年同期比11.4%増)、セグメント利益は2億54百万円(同15.3%減)と前年同期より増収減益となりました。

この主な原因は、上に記した、前年同期の受注損失引当金戻入額等の影響によるものです。

製鋼事業は、売上高は4億85百万円(前年同期比15.4%増)で増収となりましたが、セグメント利益は84百万円の赤字(前年同期は82百万円の赤字)で、赤字幅は拡大いたしました。

この主な原因は、売上は、前連結会計年度に海外生産に移行した主要顧客が、再度、国内生産方針に切り替わるなどした影響であり、当第2四半期連結累計期間末における受注残高も大幅に増加しております。

セグメント利益については、同事業の中心となる伊賀工場はバルブ製造事業の前工程としての役割も担っていますが、当第2四半期連結累計期間においては、前年同期に比して社内供給品の製造が減少したことによる固定費負担増加により悪化いたしました。

除染事業においては、地域除染関連案件が年々は減少する中、軸足を復興関連施設管理業務や放射線管理業務に移しながら業容維持を図ってまいりましたが業績は伸び悩み、売上高は2億50百万円(前年同期比10.9%減)となりました。

セグメント利益は、減収のほか、昨夏以降、人員面での大幅なてこ入れを実施したことから固定費が増加した結果、28百万円の赤字(前年同期は38百万円の黒字)となりました。

表：報告セグメント内の種類別売上高

報告セグメント	種類別の売上高	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同四半期比 (%)
バルブ事業	バルブ(新製弁)	709	911	28.6
	バルブ用取替補修部品	325	334	2.6
	原子力発電所定期検査工事	300	396	31.9
	その他メンテナンス等の役務提供	937	889	△5.1
小計		2,273	2,532	11.4
製鋼事業	鋳鋼製品	420	485	15.4
除染事業	地域除染等	281	250	△10.9
消去又は全社		△6	△5	—
合計		2,968	3,263	9.9

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産残高は105億83百万円で、前連結会計年度末に比して1億92百万円減少しました。これは主に、有価証券が3億円、仕掛品が2億86百万円、投資有価証券が2億58百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が11億88百万円減少したことによるものです。このうち投資有価証券の増加は、2016年2月に実施した株式会社キッツとの資本業務提携をより強固な体制で推進していくため、同社株式を取得したことが主要因であります。

負債残高は30億65百万円で、前連結会計年度末に比して1億30百万円増加しました。これは主に銀行借入金の増加などによるものであります。

純資産の残高は75億17百万円で、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上と前連結会計年度に係る株主配当金の支払いにより、前連結会計年度末に比して3億22百万円減少いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高は31億2百万円となり、前連結会計年度末に比して3億85百万円増加しました。

各分類別のキャッシュ・フローの状況では、営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純損失1億49百万円にキャッシュ・アウトを伴わない減価償却費1億41百万円のキャッシュ・イン要因の他、売上債権の減少額11億88百万円、たな卸資産の増加額3億66百万円などにより7億14百万円のキャッシュ・イン(前年同期は6億40百万円のキャッシュ・アウト)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得やその他設備維持投資を中心とした支出により4億59百万円のキャッシュ・アウト(前年同期は2億1百万円のキャッシュ・アウト)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、銀行借入金による収入を主要因に、1億34百万円のキャッシュ・イン(前年同期は2億89百万円のキャッシュ・アウト)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、2018年11月9日に、「平成30年9月期 決算短信」で公表した通期の連結業績予想に対する進捗率は、売上が39.8%に留まり、利益に至っては第1四半期累計期間に引き続き赤字であることから乖離がさらに拡大している状況ですが、現時点においては、当連結会計期間の受注・売上計画に重大な変更は生じておらず、製品関係の受注状況も標準的な工場操業を維持する程度に確保できていることから、今後時間の経過とともに想定に接近していくものと考えております。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
2018年11月9日公表値	8,200	250	290	260
当第2四半期連結累計期間	3,263	△186	△149	△148
達成割合	39.8%	—	—	—

しかし、今期の売上計画に織り込む一部案件については、現時点において受注が確定していないものも一定程度あることや、新たな受注損失引当金計上の可能性がある案件も存在することから、依然、いくつかの不確定要素を含むことを前提に、現時点において当初の予想を維持することとし、修正等はいりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,717,959	2,802,992
受取手形及び売掛金	3,944,307	2,755,709
有価証券	—	300,000
商品及び製品	54,558	153,162
仕掛品	991,723	1,277,883
原材料及び貯蔵品	619,157	601,380
その他	63,450	91,481
流動資産合計	8,391,157	7,982,609
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	465,297	476,168
機械装置及び運搬具(純額)	519,041	456,610
土地	261,363	261,363
その他(純額)	66,102	80,064
有形固定資産合計	1,311,804	1,274,206
無形固定資産	248,426	229,783
投資その他の資産		
投資有価証券	768,262	1,027,187
その他	66,447	80,121
貸倒引当金	△10,724	△10,724
投資その他の資産合計	823,985	1,096,584
固定資産合計	2,384,216	2,600,574
資産合計	10,775,374	10,583,184
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	598,735	767,849
1年内返済予定の長期借入金	80,808	116,566
未払法人税等	75,804	21,798
賞与引当金	319,631	215,550
役員賞与引当金	43,438	—
受注損失引当金	321,477	423,846
その他	471,436	333,584
流動負債合計	1,911,333	1,879,195
固定負債		
長期借入金	16,162	240,000
繰延税金負債	134,685	104,234
P C B 処理引当金	17,812	3,762
退職給付に係る負債	751,614	751,131
その他	103,902	87,548
固定負債合計	1,024,177	1,186,676
負債合計	2,935,510	3,065,872

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,739,559	1,739,559
資本剰余金	2,018,103	2,012,806
利益剰余金	4,385,373	4,191,734
自己株式	△671,241	△655,605
株主資本合計	7,471,794	7,288,495
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	328,117	257,879
為替換算調整勘定	16,403	12,138
退職給付に係る調整累計額	△46,642	△41,557
その他の包括利益累計額合計	297,878	228,460
非支配株主持分	70,191	356
純資産合計	7,839,864	7,517,312
負債純資産合計	10,775,374	10,583,184

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
売上高	2,968,993	3,263,781
売上原価	2,358,986	2,752,851
売上総利益	610,007	510,929
販売費及び一般管理費	623,054	697,110
営業損失(△)	△13,047	△186,181
営業外収益		
受取利息	185	99
受取配当金	9,509	10,805
受取保険金	288	15,495
作業くず売却益	4,989	4,781
雑収入	5,713	7,931
営業外収益合計	20,686	39,114
営業外費用		
支払利息	1,254	591
為替差損	1,416	968
支払手数料	1,500	498
雑損失	264	69
営業外費用合計	4,435	2,128
経常利益又は経常損失(△)	3,203	△149,195
特別利益		
固定資産売却益	263	39
特別利益合計	263	39
特別損失		
固定資産処分損	404	527
特別損失合計	404	527
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,062	△149,682
法人税、住民税及び事業税	18,546	7,311
法人税等調整額	576	△8,811
法人税等合計	19,123	△1,499
四半期純損失(△)	△16,060	△148,183
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	10,996	△36
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△27,056	△148,146

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
四半期純損失(△)	△16,060	△148,183
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,552	△70,238
為替換算調整勘定	△3,994	△4,264
退職給付に係る調整額	31,010	5,085
その他の包括利益合計	21,464	△69,417
四半期包括利益	5,403	△217,600
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,592	△217,564
非支配株主に係る四半期包括利益	10,996	△36

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,062	△149,682
減価償却費	135,668	141,128
賞与引当金の増減額(△は減少)	△63,536	△104,081
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,008	△43,438
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△122,371	102,368
P C B処理引当金の増減額(△は減少)	-	△14,050
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△20,271	4,602
受取利息及び受取配当金	△9,695	△10,905
受取保険金	△288	△15,495
支払利息	1,254	591
固定資産売却損益(△は益)	△263	△39
固定資産処分損益(△は益)	404	527
売上債権の増減額(△は増加)	51,155	1,188,598
たな卸資産の増減額(△は増加)	△511,744	△366,987
仕入債務の増減額(△は減少)	△33,320	169,113
未払消費税等の増減額(△は減少)	△60,915	△70,833
その他	66,986	△86,793
小計	△585,882	744,622
利息及び配当金の受取額	9,169	10,891
利息の支払額	△1,198	△704
保険金の受取額	288	15,495
法人税等の支払額	△64,624	△55,585
法人税等の還付額	1,492	42
営業活動によるキャッシュ・フロー	△640,755	714,762
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	-	△360,118
有形固定資産の取得による支出	△161,019	△80,314
有形固定資産の売却による収入	550	43
有形固定資産の除却による支出	-	△159
無形固定資産の取得による支出	△44,241	△19,415
長期貸付金の回収による収入	1,531	58
その他	1,773	142
投資活動によるキャッシュ・フロー	△201,406	△459,764
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△245,440	△40,404
長期借入れによる収入	-	300,000
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△70,233
リース債務の返済による支出	△8,239	△8,681
自己株式の取得による支出	△210	△186
配当金の支払額	△34,194	△45,689
その他	△1,500	△498
財務活動によるキャッシュ・フロー	△289,584	134,306
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,171	△4,272
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,135,917	385,032
現金及び現金同等物の期首残高	4,109,411	2,717,959
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,973,493	3,102,992

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年10月1日 至2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	バルブ事業	製鋼事業	除染事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,266,640	420,901	281,451	2,968,993	—	2,968,993
セグメント間の内部売上高又は 振替高	6,984	—	—	6,984	△6,984	—
計	2,273,624	420,901	281,451	2,975,977	△6,984	2,968,993
セグメント利益又は損失(△)	300,511	△82,508	38,136	256,139	△269,186	△13,047

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△269,186千円には、セグメント間取引消去2,043千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△271,229千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年10月1日 至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	バルブ事業	製鋼事業	除染事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,527,278	485,747	250,755	3,263,781	—	3,263,781
セグメント間の内部売上高又は 振替高	5,376	—	—	5,376	△5,376	—
計	2,532,654	485,747	250,755	3,269,157	△5,376	3,263,781
セグメント利益又は損失(△)	254,388	△84,728	△28,753	140,906	△327,087	△186,181

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△327,087千円には、セグメント間取引消去1,813千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△328,901千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。